

v. 4a44

Green Go Wired Beltpack

model nr. GGO-BPX



Green Goネットワーク上のすべてのステーションにいーサコンケーブルで接続できる有線ポータブルステー ションです。無線ベルトパックは、PoEスイッチによって給電されるように設計されています。 Green Goネットワークの他のすべてのステーションと同様に、ベルトパックには、システムを構成するコン フィグレーションファイルが含まれています。 *コンフィグレーションファイルの詳細については、「コンフィグ使用方法」を参照してください。*

Whats in the box: ワイヤードベルトパック

目次

概要	Paae	02
基本的な機能説明	Page	03
使用方法/セットアップメニュー、ユーザー設定、アサイン	Page	03
使用方法/コンフィグ、オーディオファイルのロード	Page	04
使用方法/トーク、コール、キュー	Page	05
使用方法/UI、カラーコード、プッシュボタン機能、他	Page	06
リファレンス	Page	07
設定方法	Page	10
トラブルシューティング	Page	14
仕様	Page	14



model nr. GGO-BPX

概要





Neutrik Ethercon: PoEスイッチに接続して、ベルトパックにデータと電源を供給します。 XLR-4 pin: ヘッドセット接続口



基本的な機能説明

コンフィグレーションファイル -	コンフィグファイルは、ユーザー、グループおよびそれらの相互作用に関する情報を含むシステ
	ムを構成します。 ベルトパックがネットワーク上の他のGreen Goデバイスと通信するには、同
	じ設定ファイルをロードする必要があります。 設定ファイルは、別のデバイスからロード/ク
	ローン化することができます。工場出荷時のデフォルトファイルを選択することも、Green Go
	Controlソフトウェアでカスタム設定ファイルを作成することもできます。 コンフィグファイル
	は、スイッチ以外のすべてのユニットに含まれています。

- **クローンコンフィグ** クローンフィグファイルは、ネットワーク上のファイルを含む別のGreen Goデバイスから複製 できます。
- **ユーザーセレクション** ベルトパックは、あらかじめ決められたユーザープロファイルを使用するように設定できます。 これらのユーザープロファイルのルールは、コンフィグファイルで決められています。
 - **チャンネルアサイン** ベルトパックには32のチャンネルがあります。ユーザーまたはユーザーグループとトークや コールするには、使用可能なチャネルの1つにアサインする必要があります。
 - **コネクション** 接続タイプを設定することにより、ベルトパックは異なる設定で動作することができます。 リ モート接続またはローカル接続。その場所のブリッジを介してリモートサイトに接続すること も、通常のセットアップで動作させることもできます。
 - **トーク** ベルトパックの32チャンネルのいずれかにアサインされたユーザーまたはグループとトークで きます。ベルトパックの32チャンネルのいずれかにアサインされたユーザーまたはグループを
 - **コール –** コールします。
 - キュー アテンション・アンド・ゴーキューを受信し、キュー受信を確認することが可能です。
 - **アンサー –** 呼び出しに応対します。
 - **アラート -**ベルトパックの32チャンネルのいずれかにアサインされたユーザーまたはグループに、ビジュ アルおよびオーディオのアラート信号を送信します。
 - **ボリューム調整 -** ボリュームの調整は、メインボリュームと個々のチャネルボリュームの両方に対して行うことが できます。
- エンコーダー機能アサイン ベルトパックの両側にあるクリック可能なエンコーダーは、デフォルトのメインボリューを制御 しますが、サイドトーンまたはプログラムボリュームを設定できます。

使用方法

セットアップメニュー

セットアップメニューに入るには、両方のエンコーダーを同時にディスプレイの方向に引いてクリックします。 この方法は、セットアップメニューを素早く終了する方法としても機能します。

セットアップメニュー方法

エンコーダーを使用してスクロールします。エンコーダーまたは4つのプッシュボタンの1つをクリックして選択/入力します。Cancel/Exitをクリックしてメニューを終了します。

ユーザー設定

セットアップメニューに入ります。「Set User」までスクロールします。 「Enter」をクリックします。目的の ユーザーにスクロールして「Enter」をクリックします。

チャンネルアサイン

ユーザーまたはグループは、32の使用可能なチャネルのいずれかにアサインすることができます。 セットアップメニューから「Channel Assignment」までスクロールし、「Enter」をクリックします。 グループまたはユーザーをアサインするチャネルまでスクロールし、「Enter」をクリックします。 IDまでスクロールして「Enter」をクリックします。 グループ、ユーザーまたは、なしなどアサインしたい項目までスクロールし、「Enter」をクリックします。使 用可能なグループまたはユーザーのリストが表示されます。 目的のグループまたはユーザーにスクロールし、「Enter」をクリックします。



クローンコンフィグファイル

セットアップメニューから「Clone Config」にスクロールします。「Enter」をクリックし、スクロールして目的のコンフィグ ファイルを選択します。工場出荷時のコンフィグファイルはリストの最後にあります。「Enter」をクリックしてコンフィグ ファイルを読み込みます。

オーディオファイルのロード

セットアップメニューに入り、Audio Settings/Load Profileをロードします。「Enter」をクリックし、スクロールして目的の プロファイルを選択します。

デフォルトのオーディオプロファイルファイルは、リストの最後にあります。 プロフィールを読み込むには「Enter」をクリッ クしてください。

ボリューム調整

デフォルトでは、2つのエンコーダー両方ともメインボリュームを調整します。 左手と右手での操作が可能です。 エンコーダーの1つをスクロールするときに押しボタン1-4を同時にクリックすると、押されているボタンが制御するチャンネル の音量が調整されます。

個々のチャンネルの音量は、Setupメニューでも設定できます。 設定値は、MUTE、-36dB、12dB、0dB(デフォルト)です。 これを行うには、Setupメニューに入り、「Channel Assignment」にスクロールし「Enter」をクリックし、希望のチャンネ ルにスクロールして「Enter」をクリックし、ボリュームにスクロールして「Enter」をクリックします。 エンコーダーをクリックしている間、トークまたはセレクトをクリックすると、チャンネルがミュート/ミュート解除されます。

エンコーダーに新機能をアサイン

2つのエンコーダー両方ともメインボリュームを調整します。

ただし、エンコーダーには新しい機能を割り当てることができます。

これらの機能には、None、Side Tone、Program Volume、Main Volumeがあります。セットアップメニューに入り、 「Device Options」にスクロールし、「Enter」をクリックします。新しい機能をアサインするエンコーダーにスクロールしま

「'Enc <' or 'Enc >'」のいずれかを選択し、「Enter」をクリックして、目的の機能までスクロールし、もう一度「Enter」をク リックします。

プログラムオーディオにグループをアサイン

プログラムオーディオを使用すると、基になるオーディオソースとしてグループを設定できます。 これは、ステージサウンドま たはその他のグループにすることができます。 グループをプログラム・オーディオとして割り当てるには、Setup Menu / Program Audio / Srcに進みます。

目的のグループまでスクロールして選択します。

ローカルロケーションに Green Go ネットワークを接続

デスクステーションをネットワークに接続します。 Setup menu / Connection /「Local connection」をクリックし、リモート接続を選択します。 リモートIPおよびリモートポートまでスクロールし、リモートロケーションでブリッジのIPおよびポート番号を設定します。 セットアップを説明するためのステップごとの指示が必要です。

User guide



Green Go Wired Beltpack

model nr. GGO-BPX

トーク

話したいチャンネルが表示されているTFTディスプレイの横にあるプッシュボタンを押します。 短く押すとトークが有効になり、再度押すとトークを無効になります。 (ラッチ機能) ボタンを押したまま離されるまでトークが有効になります(モメンタリー機能)

コール /コールモード

コールは、選択したチャネルにビジュアルシグナルを送信します。 (グループ/ユーザー) グループ/ユーザーは、コールに応答することを選択できます。 コールは、目的のチャネルに関連付けられた「Call」ボタンを短く押します。 コールボタンの使用内容は、選択したUI によって異なります。 長押しするとアラートが送信されます。

<u>キュー /キューモード</u>

ゴーキュー、またはゴーキュー前のアテンションキューの2つの異なるキューを受け取ることができます。 アテンションキューが受信されると、ディスプレイは黄色で点滅し、「Attention」の後ろに「Senders Name」が表示されま す。エンコーダーをクリックすると、キューの応答が送信者に送信され、ディスプレイが赤色に変わり、「保留」の 後に「Recepients name'」が表示されます。 Goキューが受信されると、ディスプレイは緑に変わり、テキストは「Go」および「Senders name」になります。

ベルトパックをデフォルトに戻す

セットアップメニューに入で、「Info」にスクロールし、「Enter」をクリックします。 「Reset All Settings」までスクロー ルして[Enter]をクリックします。 確認するには「Yes Reset」をクリックしてください。

ファームウェア更新

ファームウェアはイーサネットまたはmini USB経由でアップロードできます。 最新のファームウェアはwww.GreenGoDigital.comにあります。 最新のファームウェアとGreen Go Control and Connectionソフトウェアをダウンロードしてください。 -ソフトウェアを起動する -スキャンをクリックして、ネットワーク上のアンテナを検索します -次に、アンテナまたは複数のアンテナを選択し、更新をクリックします。 これにより、ファイル選択ウィンドウが開き、デバイスのファームウェアを選択して「Open」をクリックすると、ファーム ウェアの更新が開始されます。 アップデートが成功すると、デバイスは再起動します。



User guide

nodel nr. GGO-BPX



短押し:コール信号送信 長押し:アラート信号送信 (4秒)

拡張ビューと機能

エンコーダの1つをクリックして保持すると、情報画面が表示され、拡張ビューへの特別なアクセスが可能になります。 バッテリーの状態/アンテナ信号の状態/ステイタス / ベルトパックのために選択されたユーザーを表示します プッシュボタン4をクリックすることで、拡張ビューを選択できるようになります。 「Extended」を選択すると、残りの32チャンネルが表示されます。 機能は次のとおりです: -エンコーダー:スクロール - プッシュボタン1:トーク -プッシュボタン2:コール/アラー -プッシュボタン3:選択(音量設定、プッシュボタン、エンコーダを使用して上下にスクロール) -プッシュボタン4:拡張ビューを終了します。

UI変更

このユーザーガイドでは、デフォルトのUIを使用していることを前提とし、2つの部分から構成されていますが、UIレイアウトを変更することは可能です。 UIを変更すると、利用可能な機能やその機能の場所が変わります。 UIを変更するには、セットアップメニューに入り、デバイスオプションまでスクロールして「Enter」をクリックします。UIまで スクロールし、「Enter」をクリックします。 さまざまなUIがあります: UI:2パート:表示:2チャンネル - プッシュボタン1 + 2:トーク - プッシュボタン3 + 4:コール/アラート UI:3パート:ディスプレイ:3チャンネル - プッシュボタン1 + 2 + 3:トーク - プッシュボタン4 + 拡張ビュー/コール/アラート UI:4パート:ディスプレイ:4チャンネル - プッシュボタン1 + 2 + 3 + 4:トーク UI:ダイレクト2:表示:4チャンネル - プッシュボタン1 + 2 + 3 + 4:トーク UI:ダイレクト2:表示:4チャンネル - プッシュボタン1 + 2 + 3 + 4:トーク/セレクト UI:トグル2:表示:4チャンネル - プッシュボタン1 + 2 + 3:トーク/セレクト - プッシュボタン2:チャンネル1と2を切り替え ます UI:トグル2inv:表示:4チャンネル - プッシュボタン1 + 2 + 3:トーク/セレクト - プッシュボタン4:チャンネル1 + 2を切り 替えます UI: - なし:ディスプレイはオフになりますが、プッシュボタンの機能はUIの場合と同じになります:2パート



model nr. GGO-BPX

リファレンス

アラート

1人のユーザーから別のユーザーまたはグループにオーディオとビジュアルアラートが送信されます。 UI設定に応じて、(ユーザー/グループ)にコールボタンを長押しして、チャンネルに警告信号を送ることができま す。選択されたチャンネル(ユーザー/グループ)でビジュアルアラート(赤い点滅)とブザー音が鳴ります。

アナウンス

どのグループもアナウンスチャンネルに配置できます。アナウンスチャンネルはリッスンのみです。チャンネルのすべてのアクティビティは優先順位に従って処理されます。アナウンスはハイプライオリティより優先度が高くなりますが、緊急時にはミュートされます。

アンサー

呼び出しに対する応答です。ユーザは、応答中にエンコーダをクリック+ホールドすることで、通話に応答することを 選択できます。

ブザー

ブザーはユニット内のスピーカーです。アラートを受信するとブザーが鳴ります。ブザーをオンにすることができます セットアップメニューの「オン/オフ」:「Options/Buzzer」で行います。

コール

ユーザーとグループ間で会話リクエストを送信します。 UI設定に応じて、目的のチャンネル(ユーザ/グループ)の コールボタンを短く押しコールします。発信と受信は、個々のチャンネルに対して有効または無効にすることができま す。

チャネル

チャネルは、特定のユーザーまたはグループに予約された「回線」です。 1つのユニットで32チャネルを使用できま す。各チャネルには、ユーザーまたはグループがアサインされます。通信するユーザーとグループを選択し、それらを チャネルにアサインします。最速のアクセスを行うには、ユーザーとグループを若いチャンネル番号からアサインしま す。

チャンネルアサイン

ハードウェアインターフェイス(ボタンとエンコーダ)を使用して特定のユーザーまたはグループにアクセスするに は、それらを32のチャンネルの1つにアサインする必要があります。これはセットアップメニューの「Channel Assignment」で行います。

チャンネルID

グループまたはチャンネルの名前を設定します。

コンフィグファイル/Config File

コンフィグファイルは、システムセットアップに関する情報を含むファイルです。

どのユーザーとグループが利用可能で、どのルールがコミュニケーションに適しているかなどを含みます。 ユニットが通信できるようにするには、GreenGoシステムのすべてのユニットで設定ファイルを同じにする必要があ ります。工場出荷時の設定ファイルはすべてのユニットで利用できますが、コンフィグファイルはGreen Go Control ソフトウェアで作成できます。コンフィグファイルは、そのファイルを含む他のユニットからも複製できます。1つの ユニットには1つのコンフィグファイルしかロードできません。

キュー

キューは、MCDXやMCXなどのマルチチャンネルのステーションから送信できます。キューはユーザーまたはグルー プに送信できます。

ダイレクトGOキューまたはStandby/Attention Cue + GOキューのいずれかとして送信できます。

後者として送信された場合、キューは受信者のディスプレイに「Attention」メッセージとして表示されます。

受信者は、キューの受信を知ることができ、GOキューを送ることができます。

キュー受信の承認は、いずれかに設定することができます。Normal:手動確認、Auto answer:自動応答または, Ignore:応答なし。

User guide



Green Go Wired Beltpack

リファレンス

ダイレクトチャネル/ダイレクトコール

ダイレクトチャネルは、受信者が32の利用可能なチャネルのうちの未アサインの1つのユーザーからのコールを受信 するためのチャネルです。これらのコールはダイレクトコールと呼ばれます。これは、ユーザー間の通信でのみ使用 できます。

エマージェンシー

どのグループも緊急チャンネルに設定可能です。緊急チャンネルはリッスンのみです。Green Goシステムでは緊急 事態が最優先され、他のすべてのチャンネルがミュートされます。

強制再接続 – ワイヤレスベルトパックのみ

ベルトパックをアンテナから切り離し、使用可能な最良の信号に再接続することができます。 この機能は、セットアップメニューの「Forced Reconnect」で有効または無効にすることができます。 強制的に再接続するには、ベルトパックの後部にあるスライダを瞬時にスライドさせます。

グループ

ユーザーのグループ。ユーザーは、1つ以上のグループに含めることができます。サウンドクルー、ライティングク ルー、ステージクルーなどのグループ設定ができます。グループのすべてのメンバーと同時に通信することができま す。

アイソレート

分離がONに設定されていて、チャンネルでトークを有効にすると、トークがアクティブである限り、他のすべての チャンネルがミュートされます。

ラッチ

トークボタンを押し続ける必要がなく、一度のトークボタンで会話を有効または、無効にします。

モメンタリー

トークを有効にしたい間、ボタンを押してください。

リッスントーク

「Listen on Talk」がオンの場合、ミュートされたチャンネルで話すと、応答が聞こえるように一時的にチャンネルのミュートを解除します。

ペアリング – ワイヤレスベルトパックのみ

ワイヤレスベルトパックは、アンテナと組み合わせる必要があります。ベルトパックは最大4本のアンテナのペアリ ングを登録されます。アンテナは一度に4つのベルトパックに対応できますが、最大6つのベルトパックを記録する ことができます。

PoE

PoE (Power Over Ethernet)。ユニットへの電力は、イーサネットケーブルを介してPoEスイッチから供給されます。これはアンテナ、デスクステーション、有線のベルトパックなどです。

ポップアップ

ポップアップは、キューまたはダイレクトコールを受信したときに発生します。ポップアップの動作はセットアップ メニューで設定できます:「Options / Popup」

プライオリティ

優先順位は、各チャンネルごとに設定することができます。より高い優先度のチャネルは、より低い優先度のチャ ネルを書き換えます。

レベルは:低、正常、高、アナウンス、緊急です。

より高い優先順位のチャンネルがアクティブになると、優先順位の低いチャンネルは、「Options / PriorityDim」の設定メニューに従って淡色表示になります。例外はEmergencyで、他のすべてのチャンネルをミュートします。



リファレンス

プログラムオーディオ

ベルトパックのバックラウンドサウンド: DeskstationやInterface Xからのユーザ、グループ、またはアナログ オーディオ入力に使用できます。

ローミング- ワイヤレスベルトパックのみ

アンテナ信号が弱くなると、ベルトパックは他のペアのアンテナからより良い信号を探し始めます。これはローミ ングと呼ばれます。ベルトパックは最大4本のアンテナを登録できます。 ペアリングを参照してください。ベルト パックがローミングを開始する信号強度のレベルを設定することができます。セットアップメニューの 「Connection/Roaming」で行います。強制的にベルトパックをアンテナからの接続を外し、使用可能な最良の信 号に再接続することもできます。この機能は、セットアップメニューで有効または無効にすることができます。 「Forced Reconnect」強制的に再接続するには、ベルトパックの背面にあるスライダを瞬時に横に動かします。

ユーザー設定

ベルトパックやその他のステーションを使用するときは、使用するユーザープロファイルを選択できます。ユー ザープロファイルはコンフィグファイルに設定されています。 Factory Default Configurationファイルでは、Stagemanager、FOH、Monitor、Directorなどのようなユー ザーを見つけることができます。最適なものを選択してください。

SideT

Side Toneはユーザー自身の声の返りです。自分のスピーカー/ヘッドセットに自分の声の大きさを設定することができます。これはセットアップメニュー、Audio settings/SideT で行うことができます。

トーク

マイク音声をアサインされたチャンネルに送信します。目的のチャンネル(User/Group)のTalk押しボタンを押してください。

スレッショルド

スレッショルドは、マイクがピックアップする音声/ノイズを避けるべき最大レベルです。ユーザーは個々の音声 レベルを持ち、マイクの位置を個別に決める方法と、マイク毎に異なる感度を持っています。不要な音声が送信さ れるのを防ぐには、必要に応じてスレッショルドを設定します。

トーン

オーディオ信号のレベル。 アラート、キュー、接続ステータス、バッテリステータスに使用されます。 音量はセットアップメニューで設定できます:「Options / Tone」

UI

ユーザーインターフェイス – Ulはディスプレイのレイアウトです。 さまざまなレイアウトが用意されています。 こ れらはセットアップメニューにあります。 レイアウトが変わると、ボタンの機能も変わります。

ユーザー

インターカムを使用するすべてのユーザーです。 ユーザーはグループに参加できます。カスタムユーザーとグルー プは、Green Go Controlソフトウェアで作成できます。作成されると、ユーザーは名前付きプロファイルを取得 し、自動的に設定ファイルに保存されます(詳細はコンフィグファイルを参照)。ユーザーは、任意のデバイスに ロードすることができ、同時に複数のデバイスにロードすることができます。



model nr. GGO-BPX

設定方法

以下では、セットアップメニューを紹介します。お探しの項目や、セットアップメニューのリストです。

セッション

Program In: このセクションでは、Program Audio Channel Assignmentのパラメーターを設定できます。 Channel Assignment: 利用できるチャンネルは32です。 チャンネルにグループとユーザーをアサインすることができます。 Audio Settings: マイクのオーディオオプションを設定できます。 Options: 一般的なオプション設定ができます。 Set User: ベルトパックに使用するユーザープロフィールを選択します。 Clone Config: 別のGreen Goデバイスからコンフィグレーションファイルをクローン化するか、または工場出荷時のデフォル ト設定をロードします。 Connection: ベルトパックをアンテナ接続を設定します。 Device Options: お使いのデバイスのUI設定と警告を設定します。 Info: ベルトパックについての情報、設定をリセットします。 設定方法 Exit //Leave menu **Program IN** Exit //Go back Src: Select Program Audiosource: external audio source - Program audio - Mixer out etc. Vol: デフォルト: OdB - 範囲: + 12dB - -36dB - およびミュート//プログラムの音量を設定します Dim: デフォルト: - 6dB - 範囲: 0~-24dBとMUTE //通信中のオーディオディム音量をプログラムします。 **Channel Assignment** Exit//Go back 1-32//ユーザーまたはグループをアサインするチャネルを選択します。 Exit //Go back ID: 258//チャンネルにアサインされたユーザーまたはグループのIDです。 Exit //Go Back Group //チャンネルにグループをアサインします。 User//チャンネルにユーザーをアサインします。 None//チャンネルからアサインを削除します。 Set Label//チャンネルに異なるラベルを設定します。 Group//グループラベルを選択します。 User//ユーザーラベルを選択します。 Clear//ラベルセットをクリアします。 Talk: Latch/Momentary//トークの状態を選択します。 Latch/Momentary //短押し:Latch – 長押し:Momentary Latch//トークボタンを押すと会話可能です – 2回押すと発言が無効になります。 Momentary//トークボタンを押し続けて会話します。 Disabled//このチャンネルでの会話はできません。 Listen On: Listen On //チャンネルのリッスンを有効にします。 Listen Off //ディスプレイにはまだトークが示されますが、信号はOffになります。 Volume: //チャンネルの音量を設定します。 デフォルトOdB – 範囲:ミュート、-36dB~12dB Normal Priority//チャンネルの優先度を設定します。 「Options / Priority dim」も参照してください。 高優先度、通常優先度、低優先度 Call Send Enabled //コールをチャネルに送信する機能を有効または無効にします。 コール送信有効/コール送信無効 Call Receive Enabled //チャネルからのコールを受信する機能を有効または無効にします。 コール受信有効/コール受信無効 An:アナウンスチャンネルとしてグループをアサインします。 Priority and Announceを参照してください。

Em: Emergency Channelとしてエマージェンシーをアサインします。Priority and Emergencyを参照してください。



```
設定方法
```

Audio

Audio Se	tings
	Exit//Go back
	Load Profile//Load an audio profile stored in the configuration file コンフィグファイルに
	オーディオ設定をロードします。
	Sidel: サイドトーン//目身の声の返りを設定します。
	テノオルト:UdB - 範囲:ミュート〜 -UdB Autor ノディフト ションを防ぐためにダイナミックを認定します
	Auto. //フィストーションを防くためにタイノミックを改定します。 デフォルト・ミディアム 筋囲・フロー〜 Off
	「Off」設定は最大ゲインは無効です。
	MaxG: 最大ゲイン//入力、マイク信号の最大ゲインを設定します。
	デフォルト:50dB – 範囲:–60dB ~-30dB
	Thld: スレッショルド//送信されるインプット、マイク信号レベルを設定します。
	デフォルト:–35dB – 範囲:–20dB ~ –Off
	「Off」設定時はトーク時マイク、入力信号が送信されます。
	スレッショルドが高すぎると、インプット、マイクシグナルが散発的になります。
	10IC: //スレッショルト設定時のケートが開く時间を設定します。
	テノオルト・ノアースト - 軋囲・Aロノソ ~ ノアースト Diae: //雪子マイク体田時Biae/t雪酒供給が必要です
	Jusz · //電」(イン反応時日は360電源)に加かったまです。 デフォルト・Off _ 範囲・On ~ Off
	n: オーディオ入力ソース//ベルトパックオーディオソースを選択します。
	デフォルト:ヘッドセット – 範囲:4kHz ~ 125Hz – ヘッドセット
Options	
	Exit//Go Back
	Active Time://最後のオーディオアクティビティ後にチャンネルをアクティブにする時間を秒単位で設定します。
	デフォルト:4.0s範囲:45.0s -0.5s
	solate: //ナヤンイル上でトークを有効にすると、他のすべてのナヤンイルかミュートされるか、ミュートされませ ,
	ん。
	アフォルド・オフ、戦団・オフライフ Buzzar: //アラートを受信したときに唱るブザー音を有効またけ無効にします
	デフォルト:オフ、範囲:オン=オフ
	Tone: //アラート、キュー、接続ステータス、およびバッテリステータスに使用されるオーディオ信号のレベル。
	デフォルト:–12dBレンジ:最大、–1dB––48dB、ミュート
	No Listen on Talk://チャンネル上でトークを有効にすると、ミュートされたチャンネルを一時的にミュート解除するこ
	とができます。
	デフォルト:No Listen on Talk、範囲:No Listen – Listen on talk.
	Answer Enabled: //コール応答を有効または無効にします。
	テフォルト:応答有効、範囲:応答有効 –応答なし Dearwar All :
	Popup All · //Popup 状態をを選択します。
	Popup All//すべてのポップアップが表示されます。
	Popup Cue+Direct//キュー信号のボップアップとダイレクトトークのみです。 Denum Cue //キュー 信日の ひの ポップアップ
	Popup Cue//キュー信亏のみのホッファッフ Ne Popup //PopupなL
	No Fopup//Fopup/a O
	Priority Dim: //優先度の高いチャネルがアクティブになる場合、優先度の低いチャネルのディミングレベルを設定します
	デフォルト:-6dB レンジ:0dB~-24dB、ミュート
	Direct Priority:://ダイレクトチャネルのプライオリティを設定します。
	アノオルト:ノーマル範囲:ハイ ―山ー Direct Makers : //古拉チャンフリの充居を記字」ます
	JIFECT VOIUTHE・// 但按チャノネルの百里を改定します。 デフォルト:12dR Lいぶ:12dR 36dR ミュート
	ファイルド・Tzub、レンフ・Tzub、ニュード Cue Mode: //キュー信号でレスポンスを設定します。
	テフォルト:ノーマル 笠田・毎月11日ましたい。
	戦囲・無倪//刊もしない 白動広签//洋信老に「cuo rocoived、遊認た白動的に洋信」ます
	日期心合//公同日に「CUETECEIVEU」唯祕を日期的に还同します。 通営//ユーザーが破認わ返信を亜ボーキオ
	□□円//ユーリー/N唯心 Y巡信を安氷しより。

GREEFN COMMUNICATION

Green Go Wired Beltpack

model nr. GGO-BPX

設定方法

Set U	lser://ベルトパックに使用するユーザを選択します。 Cancel//Go Back 「User A – Z」	
Clone	e Config //ネットワークから設定ファイルをクローンしたり、工場出荷時のデフォルトをロードします。 Cancel//Go Back 「コンフィグファイルA–Z」 工場出荷時のデフォルト	
Connecti	ion: //使用するデバイスの接続タイプを設定します。	
	このメニューに入ると、選択した後続シインのメニューが表示されます。メニューは次のいすれかです。 ローカル接続またはリモート接続	
+ _ / +	Local Connection: ローカル接続は通常動作です。 ここをクリックすると、Local/Remote/Latency/Master接続選択メニューが表示されます。 Save //保存設定 Cancel //Go Back	
90.4 k	Remote Connection: //ブリッジ経由でリモートサイトに接続するときは、リモート接続が使用されます。 デバイスはそのロケーションの完全なメンバーになります。 Local/Remote/Latency/Master接続選択メニューが表示されます。 Password: //接続のパスワードを設定します	
	ノブを回してスクロールし、ノブをクリックして選択すると、ツールキーが終了します。 password入力; 8桁の数字,A–Z,a–z,0–9,!,@,#,\$,%,^,&,*,(,),	
	Generate Password://ランダムなパスワードを選択します。 Remote Port: // リモートポートを選択 ノブを回してスクロールし、ノブをクリックして選択すると、ツールキーが終了します。 Remote IP: 0.0.0.0 //Select remote IP	
	ノブを回してスクロールし、ノブをクリックして選択すると、ツールキーが終了します。 Backup: Off //有効な場合、接続されたブリッジに障害が発生した場合、再接続します。 Off, 0.0.0.1	
	SndBut: // インターネットジッタを補うためにバッファを設定します。 デフォルト、小、標準、大 BecyBuf: // インターネットジッタを補うためにバッファを設定します。 Autoは接続に従って調整します。	
	デフォルト、小、標準、大 Save //接続設定を保存します。 Cancel //Go Back	5
Network	Dvnamic: //動的ネットワーク設定を選択するか、独自の設定を行います。	
	OFF: IP address: 169.254.181.58	
	Netmask: 255.255.0.0	
	Save //Save the settings	
	Cancel //Go Back Save //ネットワーク設定保存 Cancel //Go Back	
Device (Options	
	Exit//Go Back	
	UI: 2-part//ベルトバックに使用するユーザを選択します。 - //表示オフ - ボタンは2パートとして動作します。 2. Part //2つの鼻初のチャンさルを表示します。	
	Button 1: Talk Ch 1 Button 3: Call Ch 1	
	Button 2: Talk Ch 2 Button 4: Call Ch 2	

GREEN COMMUNICATION

Green Go Wired Beltpack

model nr. GGO-BPX

設定方法

	3-Part //3つの	D最初のチャンネルを表示しま	す。	
	Button	1: Talk Ch 1	Button 3: Talk Ch 3	
	Button	2: Talk Ch 2	Button 4: Go to Ch 4 - 32	
	4-Part //4つの量	浸初のチャンネルを表示します	,一回押して選択します。 2回目でトーク	になります。
	Button	1: Talk Ch 1	Button 3: Talk Ch 3	
	Button	2: Talk Ch 2	Button 4: Talk Ch 4	
	Direct 2 //4つの)最初のチャンネルを表示します	す。一回押して選択します。	
	Button	1: Select Ch 3/Talk Ch 3	Button 3: Select Ch 4/Talk Ch 4	
	Button	2: Select Ch 1/Talk Ch 1	Button 4: Select Ch 2/Talk Ch 2	
	Toggle 2 //4つの	の最初のチャンネルを表示しま	す。	
	Button	1: Select Ch 3	Button 3: Select Ch 4	
	Button	2: Toggle C 1 and 2Button	4: Talk button	
	Toggle 2inv //4	つの最初のチャンネルを表示し	,ます。	
	Button	1: Select Ch 3	Button 3: Select Ch 4	
	Button	2: Talk button	Button 4: Toggle Ch 1 and 2	
Flip: //	/表示項目の一部ま: デフォルト:オ: 範囲: Both//フリップ Menu //このメ: Main //メイン画 オフ//フリップ!	たは全部を上下フリップする場 フ メニューとメイン画面 ニューのみをフリップします。 両のみをフリップします。 しません。	合に選択します。	
Enc. <	//±のエンコー	ダのフクロール機能を選択しま	4	
	// 左のエンコー デフォルト:メ- 範囲: –//エンコーダの Side Tone //エ Program Volum Main Volume /	インボリューム インボリューム シスクロールには機能がありま† ンコーダーのスクロールでサイ ne /エンコーダースクロールでメ・ /エンコーダースクロールでメ・	き。 さん ドトーンの音量が調節されます。 プログラムボリュームを調整します。 インボリュームを調整します。	
Fnc >	//右のエンコー	ダースクロールの機能を選択し	ます。	
	デフォルト:メ- 範囲: -//エンコーダの Side Tone //エ Program Volum Main Volume /	インボリューム クスクロールには機能がありま† ンコーダーのスクロールでサイ ne /エンコーダースクロールでメ・ /エンコーダースクロールでメ・	さく。 さん ドトーンの音量が調節されます。 プログラムボリュームを調整します。 インボリュームを調整します。	
LED b	r ight ・//4つのイン	ジケータI FDの輝度を設定しま	ta .	
	デフォルト:4			
	範囲:最大、6	- 1、オフ		
Scr Sc	iver: //最後のアク	ティビティの後にディスプレー	´がオフになるまでの時間を設定します。	
	デフォルト:10)分		
	範囲:2時間、	時間、30分、10分、1分、30)秒、10秒、常にオン	
Info //ユニットに関	間する情報を表示し	ます。		
Name se	t //ユニットの名前	う。 Green Go Controlまたは	Connectionソフトウェアで設定可能 です	0
アクセス	保護なし - アクセス	、保護		
	//Green Go Con	trolソフトウェアで設定されて	いるアクセス保護を表示します SN: 214 ,	//
Unit serie		reversion		
вепрасх	Roltpacky 4= 44			
		// Timware version		
	13.01.02 //Firm	ware release time		
IP. 160 2	254 181 58 //T			
Mac. XX	XX.XX.XX.XX.XX	//Device Mac address		
Reset All	Settings //すべて	、, 」 Since Address. 「のIP、ユーザー、オーディオ、	およびチャンネルの設定をリセットします	す。
	~ / /			



トラブルシューティング

他のユニットと通信することができません

–すべてのユニットで同じ設定ファイルを使用していることを確認してください。

-setup menu/clone configに行き、複数の設定が利用可能かどうかを確認してください。

システムにエコーがあります

-スピーカーの近くにマイクがあるかどうかを確認します。

仕様

Physical:

寸法: 120mm x98mm x47mm
重量: 279g
接続: 1x Neutrik XLR 4 pin, 1x Neutrik Ethercon
金具: ベルトクリップ
電源: PoE

Connector Pin assignments:

HEADSET

Pin 1: MIC Ground Pin 2: MIC Signal Pin 3: Speaker -Pin 4: Speaker +





仕様

Wireless:

範囲: 50-300m 環境によります。
DECT: DECT準拠方式
RF: RF range: 1870 MHz to 1930 MHz
受信感度: < -93 dBm
トランスミッター: JP: 23 dBm: 1895 MHz -1903 MHz
ディレイ: Wired: 10msec、Wireless: 24msec
消費電力: Max:4W, Typ:2.5W

オーディオ仕様:

MCX(D)、BPX有線ベルトパック、WBPX ワイヤレスベルトパックをWAAアンテナ経由で測定出力ヘッ ドセット、音量0 dB RMS値 22Hz~22kHz 負荷なし デジタルオーディオフォーマット:リニア16ビット16/32 kHzサンプルレート(標準/拡張オーディオ) ワイヤレスリンク:G722ワイドバンドコーデックによるDECT

Input	Headset mic	Panel mic	Line
Connector	XLR4M pin 1-2	XLR 3F	XLR 3F
Туре	unbalanced	balanced	balanced
Electret mic bias / Phantom power	0/ +2,5	0/+10V	
Gain	+30 - +70dB	+24 - +64dB	-9 - +31dB
Limit-level AGC	-12dBFS = +2dBu		
Gate Threshold	Off, -45dB20dB 5dB steps		
Sidetone level	Mute, -24dB - OdB 3dB steps		
All wired units			
Noise	-7055dBu	-7555dBu	-7555dBu
Latency mic-network - headphone	12 msec	12 msec	12 msec
Wireless beltpack			
Noise	-6352dBu		
Latency mic-network - headphone	26 msec		
Frequency response standard	240 - 7000 Hz	200 - 7000 Hz	140 - 7000 Hz
Frequency response enhanced	240 - 14000 Hz	200 - 14000 Hz	140 - 14000 Hz
Enhanced only on wired units channels			
Output	Headset	Internal speaker	Line
	All units	MCD/WP	MCD/WP
Connector	XLR4M pin 3-4		XLR 3M
Nominal level	0 dBu		0 dBu
Max output	+20 dBu	>2W	+12 dBu
Load	32 - 600 Ohm	>8 Ohm	o/p imp 240 Ohm

Green-GO is designed and manufactured in the Netherlands by ELC Lighting Worldwide sales: Anima Lighting, Le Bouveret, CP 46, CH-1895 Vionnaz



| 株式会社アートウィズ 〒134-0003 東京都江戸川区春江町5-11-2 Tel:03-5667-9682